

平成 22 年 度

高瀬川河川事務所 事業概要

平成 22 年 3 月 29 日

国土交通省 東北地方整備局

高瀬川河川事務所

※記者発表会：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 高瀬川河川事務所

八戸市石堂三丁目 7-10 (TEL 0178-28-7135)

河川副所長 藤原 政幸 (内線 204)

工務課長 中村 中 (内線 311)

平成22年度 事業概要

1. 予算概要

平成22年度の事業費は、当初予算で約3億1千3百万円です。

※上記事業費は業務取扱費を除いたものです

※河川関係予算額は本省記者発表の箇所表に

記載している事業の合計額を示す

2. 河川改修

H18.10、H19.11 出水などによる洪水被害軽減のため、無堤部（東北町 田ノ沢地区）において堤防整備等を実施します。（別添－1）

3. 工作物関連応急対策事業

津波や高潮時でも安全にゲートの開閉操作を行えるように、平成21年度の市柳川水門に引き続き平沼第一排水樋門の遠隔制御設備の設置を行います。（別添－2）

4. 小川原湖水環境整備

地域産業・観光の基盤である小川原湖の水環境の保全・改善を図るため、平成21年度に引き続き水環境の現地調査・改善策検討を進めるとともに、試験施工を実施します。（別添－3）

5. 調 査

河川の適正な利用及び水質の保全を目的として、水質監視を実施するほか、環境に関する基礎データ収集のための各種調査等を実施します。

事業名 高瀬川田ノ沢地区改修事業
(青森県上北郡東北町)

事業着手:

完成・供用の目標年度:

事業の必要性・事業の概要

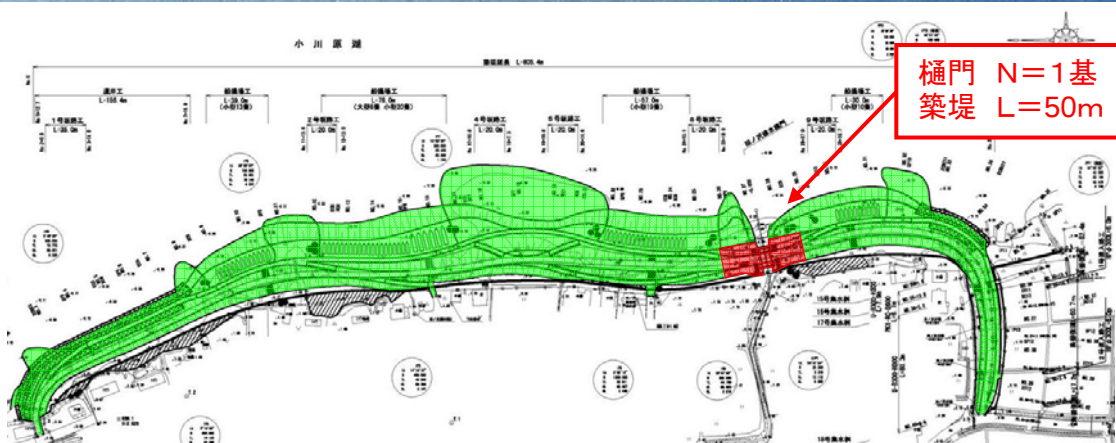
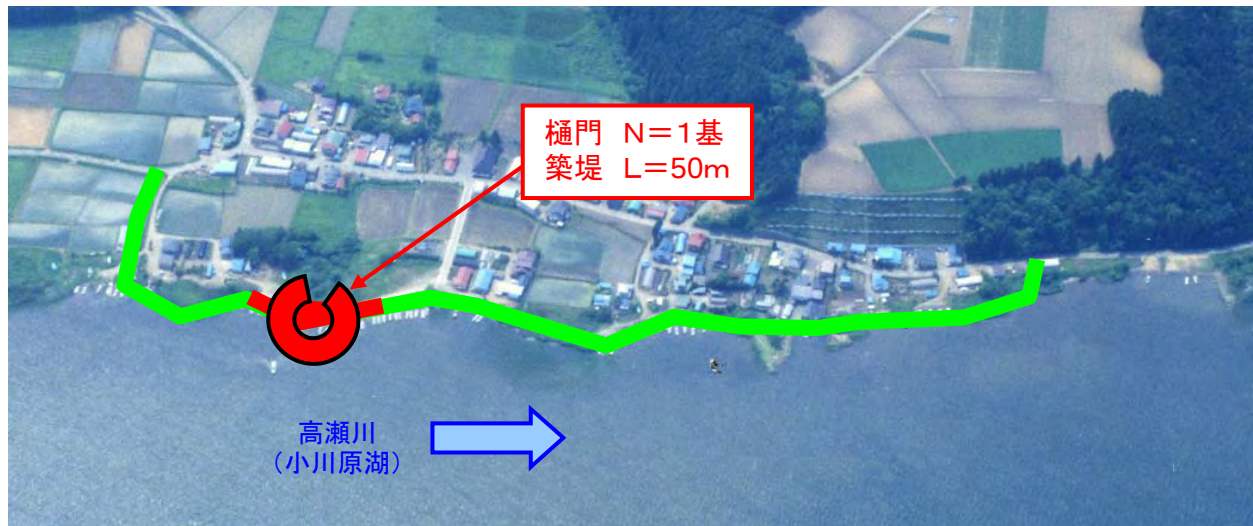
「事業の必要性」

直轄区間において無堤地区のままとなっている田ノ沢地区は、古くから漁業が盛んで、湖岸沿いには家屋の他、漁業用小屋、栈橋などが密集しており、地域の重要な生活拠点となっています。

近年、平成13年、14年、18年、19年と立て続けに洪水が発生しており、H18.10洪水では、既往第2位の高水位(T.P.+1.52m)を記録し、宅地の湛水や作業小屋の浸水などが生じました。また、洪水時の波浪による河岸洗掘等の災害も発生しており、地域住民の洪水に対する危機感が高まっていることから、地先防御として当該地区の築堤を早期に完成させ、治水安全度の向上を図る必要があります。



「事業の概要」



平成22年度事業費及び事業内容

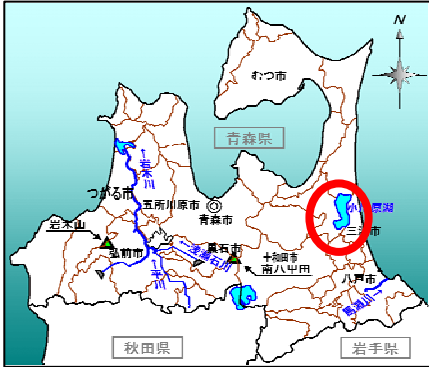
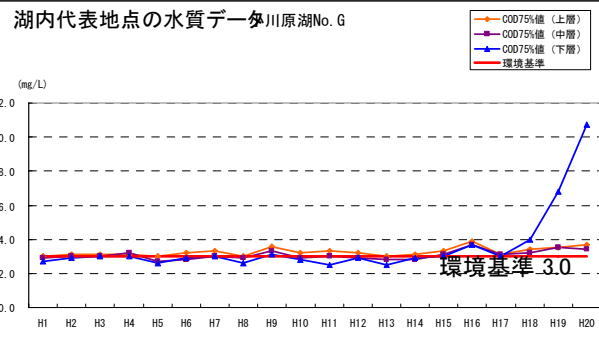
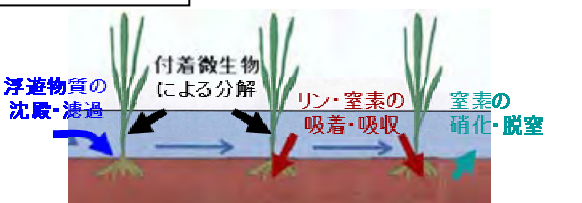
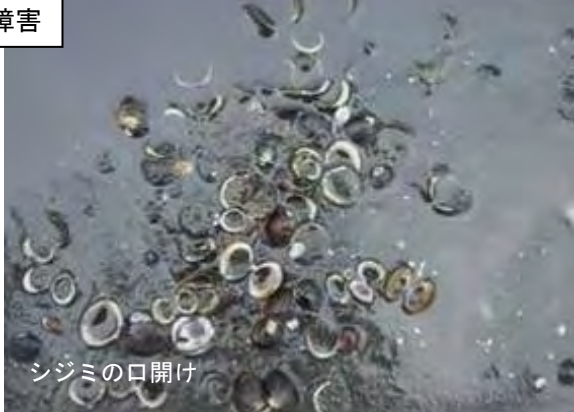
○事業費：130百万円

○事業内容：用地補償、樋門設置、築堤

事業効果

○無堤箇所の堤防を整備することにより、出水時の浸水被害の軽減を図ります。

事業名	高瀬川平沼第一排水樋門遠隔化事業 (青森県上北郡六ヶ所村)
事業着手：平成22年度	完成・供用の目標年度：平成22年度
事業の必要性・事業の概要	【事業概要】 現状の平沼第1排水樋門は、現地での操作による樋門であり、操作員を地域住民に委嘱しています。 津波来襲時における現地操作の危険性の回避、台風時や夜間などでも常に状況を監視し、迅速かつ確実な操作対応を可能とするため、ゲートの開閉操作の遠隔化を実施するものです。 平沼第1排水樋門
平成22年度事業費及び事業内容	○事業費：43（百万円） ○事業内容：遠隔制御装置設置、CCTVカメラ設置
事業効果	○津波・高潮時にも安全にゲート操作が可能となります。

事業名	小川原湖水環境整備事業 (青森県上北郡東北町)	
事業着手：平成20年度	完成・供用の目標年度：平成29年度	
事業の必要性・事業の概要	小川原湖の水質は年々悪化してきており、既に「中～富栄養湖」の段階にあります。そのため、早期に適切な対策を行い水質を改善し、利用環境の改善・生態系の保全・水産資源の確保に繋げることを目的として「小川原湖水環境整備事業」を平成20年度から実施しています。 平成22年度は、地域産業・観光の基盤である小川原湖において水環境の改善を図るため、平成21年度に引き続き水環境の現地調査・水質改善策検討を進めるとともに、一部浄化対策を実施します。 	
湖内代表地点の水質データ 小川原湖No. G   植生浄化イメージ  水質浄化対策イメージ 		
 アオコ 水質障害  シジミの口開け		
平成22年度事業費及び事業内容		
○事業費：140(百万円)		
○事業内容：植生浄化、流入河川対策、測量設計		
事業効果		
○水質を改善し、利用環境の改善・生態系の保全・水産資源の確保を目指します。		